

福生市町会長協議会 会報

ちいき

〈発行〉 福生市町会長協議会 会長 笹本 誠一

これは、高齢の方が、買い物や通院時に外出する際、ご自宅から目的地までの送迎を地域のボランティアで行うもので、とても重宝されているようです。

町会・自治会の現状は、行政と町会・自治会の連携、補助金制度等によるまちづくりの視点から説明され、守山市の自治連合会や各自治会が行っている様々な工夫を知ることができました。中でも、先鋭的に行っている活動として、「移動支援」を紹介いただきました。

他県からの視察もあり、今後、全国的に広まっていくことが予想されます。その後の質疑応答では、福生市から守山市の高い自治会加入率や、会費の納入率についての質問を頂きました。これに対して守山市からは、転入者への案内や会費の支払い方法な



守山市PRキャラクター もーりー

福生市町会長協議会・

守山市自治連合会

意見交換会

平成24年11月12日(月)、福生市町会長協議会は視察研修で、友好交流都市協定を結ぶ滋賀県守山市へ表敬訪問し、守山市自治連合会と意見交換会を行いました。

はじめに、両市の事務局から市の紹介があり、その後、町会・自治会の現状について説明がありました。

ど、自治会に応じた工夫をされているとのお話をいただきました。その他にも、活発な質疑応答があり、お互いの貴重な意見や情報を交換する有意義な場となりました。

この意見交換会を通して、守山市自治連合会の活動を学ぶと共に、福生市町会長協議会のPRをすることができました。今回学んだことを、今後、地域の活性化につなげていきたいと思えます。

■ 町会・自治会に加入しましょう ■

★町会・自治会に加入すると…

地域の人たちと顔見知りになり、非常時にも大きな効果を発揮するだけでなく、見守りが必要な高齢者の発見など、地域の事件や事故を未然に防ぐことにつながります。

★どうやって加入するの？

お住まいの地域の町会・自治会にご連絡ください。町会・自治会がわからない場合は協働推進課(電話551-1590)までお問い合わせください。

**紹介します**

**町会・自治会の活動**

福生市内にある34町会・自治会の活動を  
「支えあい」「うるおい」「にぎわい」の3つ  
のテーマで紹介します。

**にぎわい**

# 伝統行事

志茂第一町会

井上 正和

志茂第一町会には現在約六百世帯ありますが、そのうち町会に加入しているのは、約半分の三百世帯です。

昭和40年頃に北田園地域が区画整理され、一面田んぼだった所に住宅等が建ち始め、現在ではそこに住んでおられる方のほうが多くなりました。

そのような中で、新旧住民のコミュニケーションの融和を図るべく町

会では色々な伝統行事を行いながら、地域の伝統文化を引き継いでおります。

その中のひとつに「どんど焼き」があります。約30年前、町内の若手グループ（ふたけた会）が始めました。当初は市内の他の町会でも行っていました。今では当町会のみとなっております。

今年の「どんど焼き」は大雪に見舞われたにも関わらず、例年どおり多くの人が訪れ、威勢よく燃える火柱を前に無病息災を祈っていました。

また、毎年暮れには、長老の指導のもと、「しめ飾り講習会」を開催し、正月の玄関には各家庭趣向を凝らしたお飾りが飾られます。

夏は盆踊り大会があり、女性部が中心となつて子供から大人まで約二百人が楽しめます。模擬店等はふたけた会が担当し、老若男女が集まり会場を盛り上げます。

このように、当町会では、年間をとおして伝統とにぎわいのある行事が行われております。

★「どんど焼き」とは、お正月に、門松・竹・しめ縄などを燃やす行事で、その火で焼いた餅を食べたり、灰を持ち帰り自宅の周囲にまくとその年の病を除くと言われています。

**支えあい**

# 社会貢献活動

福栄町会

山田 暁

福栄町会の町会行事等は、老人会の福寿会や小地域福祉地区の方々を中心に行っています。

昨年の5月、定例幹事会の際に、小地域福祉地区委員長より、高齢の方が気軽に体を動かせる場所を、集会所に設けたいと提案がありました。地域住民の誰もが日常的に立ち寄れる場所、高齢の方が気軽に体を動かしたり、体を動かすのは苦手でもお茶呑みや世



間話だけでもOKという場所を確保し、高齢の方々が少しでも元気で、健康の保持・促進につながればとの熱い思いからでした。

町会役員、幹事もその意見には同意しましたが、誰が集会所の鍵の開け閉めの管理をするのか、健康器具をどうするのか、どのくらいお金が必要なのか等が課題となりました。ましてや町会にはそんな予算は全くないのが現状でした。

町会役員等が心配していたところ、小地域福祉地区委員長が「別に新品でなくてもリサイクル品や、各家庭で使わなくなった健康器具などを集めれば十分だと思えます。そして、私が集会所の開け閉めをやります。」の一言で、平成24年6月から集会所の一部屋がトレーニングルームとしてスタートしました。





トレーニングルームには、血圧計、体重計、肩もみ機、ウォーキングマシン、バランスボール、ジョーバ、トレーニングベンチなどを設置し、特に高齢の方を対象として週4日間解放しました。すると、老若男女が沢山集まり、血圧を測ったり、器具で体を動かしたりと大盛況でした。現在は、冬場ということもあり、開設当初に比べ利用者が減っているため週2日間のみの解放ですが、暖かい春にはまたツバメのように、大勢の人たちが戻ってくると信じています。これからも地域住民の方々と交流を通して、社会貢献のできる活動を行っていきます。

にぎわい

# 餅つき大会

本町第八第二町内会

榎本 博人

本町第八第二町内会では、毎年、12月の第一日曜日に「餅つき大会」を開催し、加美平東公園に、にぎやかな歓声が響きわたります。これは、7月の祭礼、盆踊りに次ぐ町会の一大イベントです。

当日は、役員が朝早くから公園にテントを張り、折り畳みのテーブルを並べ準備に入ります。子供たちは11時に集合することになっていますが、待ち切れずに早くから来る子どもも少なくありません。そのような子供たちには餅つきを手伝ってもらいます。大人に手伝ってもらいながらお餅をつく子や、毎年お餅をついて慣れている子など、色々な子供がいますが、みんな様に美味しいお餅を作ろうと一生懸命です。

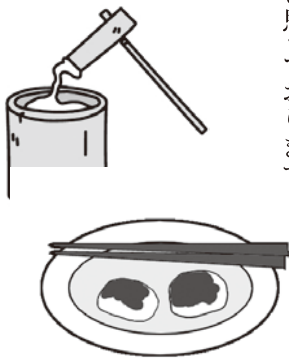
お餅以外にも、豚汁、秋刀魚の塩焼き、さつま芋やじゃが芋のホイル焼きなど、多くの料理がテーブルに並びます。

メインのつきたてのお餅は女性軍が総出で一口大に丸めオイルパンに並べ調理します。きなこ、あんこ、大根おろし、納豆、海苔などのお餅が



あるので、幅広い世代の人が食べ比べや会話を楽しみながら交流しています。

会場には、子供たちと一緒に親たちも来ますので、総勢二百人を上回る人が集まり、一日中笑い声の絶えない、地域住民のコミュニケーションを深める場となっています。これからも、住民同士が交流し、地域が活性化する行事を大切にしていききたいと思っております。



広告掲載スペース

みんなで応援しよう!

## スポーツ祭東京2013

第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会

種目 ソフトボール競技(成年女子)  
 日程 9月29日(日)~10月1日(火)  
 会場 福生野球場・市営競技場

知っていますか？

# 思いやり傘



町会長協議会では、市民の皆様が公共施設を利用し、突然の雨にあわれたときに、どなたでも傘をご利用いただけるよう、「思いやり傘」を用意し、思いやりの気持ちを届けています。

この思いやり傘は、町会・自治会の会員の方からご提供いただいたものを活用しています。

市民の皆様には、お気軽に傘をご利用いただくとともに、地域の町会・自治会に関心を持っていただきたいと思います。

ご利用した傘は、お近くの公共施設へお返しください。



## ～設置施設一覧～

- |               |             |
|---------------|-------------|
| ①輝き市民サポートセンター | ⑨熊川地域体育館    |
| ②市民会館・公民館     | ⑩福生地域体育館    |
| ③白梅会館         | ⑪武蔵野台児童館    |
| ④松林会館         | ⑫熊川児童館      |
| ⑤中央図書館        | ⑬田園児童館      |
| ⑥わかぎり図書館      | ⑭福祉センター     |
| ⑦わかたけ図書館      | ⑮福生市役所(3ヶ所) |
| ⑧中央体育館        |             |

## 思いやり傘の提供を お願いしています。

「思いやり傘」は、多くの市民の方にご利用いただき、大変ご好評いただいております。

ご自宅で眠っている傘がありましたら、最寄りの町会・自治会役員または福生市役所協働推進課まで、ご提供ください。

西多摩地区自治会・

町内会連合会長会

## 定例研修会

2月22日(金)、「自治会・町内会活性化に必要な「近所の力」をテーマとした西多摩地区自治会・町内会連合会長会定例研修会に、福生市町会長協議会から7名の会長が参加しました。

前半の講演会は、講師が制作した番組を放映し、クイズを取り入れながら行われました。

番組の内容は、地域の課題を抱える人々に同じような課題を解決した事例を紹介するもので、講演会では避難訓練・お祭り・新旧住民の融合の3つの成功事例が挙げられました。この成功事例から、地域の課題解決には、その地域の特性に合わせた解決方法を発想し、行動することが重要だということが見えてきました。

また、課題というピンチをチャンスに変えようとする姿勢や、全員が賛成してから動くのではなく、賛同者同士で動き始めることも必要で、固定化している参加者以外にも声をかけることが新たな人材の確保につながる

講師 黒川 敬 氏

(NHK制作局  
チーフディレクター)  
平成15年からの人気番組「難問解決!ご近所の底力」を担当し、番組終了後も、地域の難問に悩む全国各地で講演活動を行っている。

がるというお話をいただきました。

後半では、参加者と講師による質疑応答形式の懇談会が行われました。参加者からは、加入率の低下や、高齢化、役員の担い手不足など、町会・自治会の抱える悩みが挙げられ、また、加入促進のために行っている独自の工夫や、連合組織で作成しているパンフレットの紹介等もありました。講師による課題解決の成功事例をまじえたアドバイスも受け、課題解決のヒントを多く得ることができました。

平成25年3月

編集委員長

編集委員

高水 章夫	北村 良之
堀江 秀夫	福原 敬三
小澤 芳輝	